## アイユーゴー 通信 第8号

申し込み及び問い合わせ先:アイユーゴー '途上国の人と共に' 事務局

住所: 590-0432 大阪府泉南郡熊取町小垣内1-10-18

TEL/FAX: 072-452-8340 • 090-9167-7053 (新田) 振込先:日本郵政公社—00980-2-71223 e-mail: <u>aiyugo@rinku.zaq.ne.jp</u> homepage: <u>http://aiyugo.fc2web.com</u> (設立:2001/10/15)

編集 編集長 : 岩見和孝 事務局 : 間城徹也 新田香織 発行人 : 新田幸夫 印刷所 : (株)フジカク

# タイ・ベトナム・ラオス・日本





日本人もベトナム料理に挑戦



食事交流で本場の春巻きが



絵の交流会もしたよ!

本会が(財)日本国際協力財団から支援を受けて建てた農業情報支援センターがタイ北部にあります。このセンターに、昨年12月18日から22日の間、ラオスのサバナケート県の農業指導員4名、ベトナムのダラット大学の社会福祉学部長と助手たち4名、ホーチミン大学の薬学専門家1名、日本からは神戸大学から医学部生の佐倉孝哉さん、院生の池下伸子さん、松下電工の齋藤由香さん、相愛大学

写真をせがまれて!

学部生の間城徹也さん、本会から 1 名が集まりました。



恋でも語らっているのかな?

### ★☆ 目次 ☆★

- P2. ・合同セミナー特集
  - ~各国の発表や感想~
  - ~次回開催へ向けての活動~
- P3. ・タイ北部での農業に関する活動内容・報告 〜過去から現在までの変化を知る〜
- P4. · 地域活動
  - ~おっちゃん!・おばちゃん!~
  - ~お絵かき国際交流~
  - ・新田代表のひとりごと
  - ・お知らせ 本会がテレビで紹介されます!



カレン族の象が村案内を



民芸品製作にチャレンジ

合同セミナーの活動として は、フィールドワークとワー クショップがありました。フ ィールドワークでは、①そ のセンターにあるパイロット ファームでの農作業(耕作、 苗木の植え付け、水遣りなど) ② 同地区の病院と保健所へ



タムロット保健所

の訪問、また院長から保健医療などの説明を受けました。



耕すベトナムのタイ先生

オプラスティックについての紹介と環境に

やさしいもの作り(樹木から自動車の内部 の部品作り) についての講義、などがあり

ました。合同セミナーの最後に各国からの 感想や次年度に向けての行動計画が述べ

センター内でのワークショップ では、①アイユーゴーと各国と の共同活動の紹介 ② ベトナムの 社会福祉制度についての講義 ③ ラオスの現在の乾期対策に追われ る農業事情の説明、さらに ④ 日 本の保健所の役割や母子手帳、感

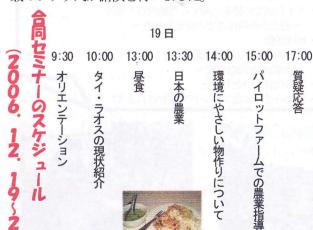
染症などについて の説明、そして物 質循環サイクル が成立するバイ



視力検査表

られました。 ベトナム人が高く評価した点は、この農業情報支援センタ 一に研修を受けに来た村人たちとスタッフがスムーズにコ ミュニケーションをとっていることでした。また、タイの 健康保険システムにも感心していました。ラオス人はベト ナムの社会福祉システムの話とタイの病院見学が役立った と言っていました。また、かれらも農業情報支援センター の管理や活用方法に興味を惹かれたようです。そしてこの 合同セミナーの最後に、メーホンソンの副知事で、若干30 歳のワチラ氏が講演を行いました。

19日



環境にやさしい物作りについて バイロットファー







ラオスの農業について バンマパー地区の病院訪問





参加者たちが見守る中で



日本の医療制度・保健所を語る

保健所の前で

イ先生の社会福祉の講義





子供のころはこうしていたの

ベトナムの福祉政策を講義

「母親は自然環境を守る活動家で、いつも政府に抗議する ことで有名です。この母を見て育ち、母親が非難する政府の 実態を知りたいために国家公務員になりました」と語りまし た。役場では、一つのことを決めると一枚の紙に書きつけ、 それを最終決断するところまで何日もかけて届けていく。そ ういう時間のかかる『書類の役場』の実態を実感したそうで す。「だからこそ即戦力を持つNGOとの共同作業が必要だ」 と説きました。「2007年度はベトナムで!」とダラット大学 社会福祉学部学部長のタイ教授が訴えました。

(この事業は三菱銀行国際財団の助成による)

20日

10:00 13:00 13:30 14:00 14:30 15:00 17:00





タイ北部での



タイ北部のメーホンソン県の農村地域で経済的に自立が 困難な少数民族の人々に農業指導をしています。現在では、 次のような野菜の栽培や樹木の植林を指導しています。

1) メーホンソン県パンマパー地区ワナルアン村: モーニンググローリー、ほうれん草、グリーンパック チョイ、キャベツ、レタス、中国ニンジン、カリフラ ワー、パセリなど12種類

《農業開発支援センターでのパイロットファーム 「財団法人 日本国際協力財団からの助成による」》





本会の農業専門家岡本俊則氏による現地現場指導

2) メーホンソン県パンマパー全地区; マンゴ、マカデミアナッツ、コーヒー、竹 《少数民族(シャン族ラフー族、モン族、カレン族、リス 族など) 居住地における植林「地球環境基金の助成金 による」》

この地域では、森林伐採は禁じられているので森林管 理のための衛星写真が届くとセンター長のソムヨッツ 氏は位置確認に余念がない。植林をするとこの地区の 村人に居住するためのIDカードが発行される。

3) メーホンソン県パンムー地区タンボン郡クンパトゥング 村:

> なす、キャベツ、キューリ、にんじん、たまねぎ、か ぼちゃ、白菜、カリフラワー、ピーナッツ、さやえん どう、チリなど13種類の現地産の野菜

> 《リス族居住地における農村開発「国際ボランティア貯 金の寄附金による」》

### ・過去から現在へ

本会が現地で支援協力することによって生活がどのように 変わったのでしょう。以前は、村人たちはまとまりが無く、 それぞれ民芸品を作ったり、道路工事や田植え、稲刈りの手 伝いなどで少ない収入を得ていました。野菜は自然にあるわ ずかなものを食べていました。

野菜栽培を始めてからは、夕食後に打ち合わせをしたり、 共に作業したりして、コミュニケーションを図るようになり、 村人同士のチームワークがよくなりました。

また、野菜の販売で現金が入るようになり、色々な種類の 野菜を食べることができるようにもなりました。

もっとも変わったことは、センター長のソムヨット氏によ ると、「麻薬をする人がいなくなったようだ」という状況です。 麻薬は万能薬として、またストレス解消のために使用されて いました。しかし農業開発支援センターが建設され、村人た ちは、農業に関心を持ち始め、日本人たちも多く訪問するよ うになったことで、麻薬から遠ざかったのでしょう。

王立公園の中での居住が黙認されるようになったことで、 樹木、野菜などがしつかり根を生やすように、村人の足も地 にしっかり付き始めたようです。





衛星写真で位置確認



圃場に出る前に基礎を





21日 11:00 日の地域開発に関する行動



13:00 14:00

民芸品



収穫間際にワチラ氏とこどもたち

# 地域活動

#### ・「おっちゃん・おばちゃん」の地域を目指して

親とは違う「おっちゃん・おばちゃん」がこどもたちに関わり合い、監視という意味ではない多くの目が、こどもたちに向けられ、大人とこどもが信頼できる昔なつかしい地域つくりを細々と行っています。熊取には充実した学童保育所《放課後教育を行う NPO》があり、熱心な指導員たちと子育てに悩みながらがんばっているおとなたちがいます。本会の代表はその OB です。「おじちゃん・おばちゃん」の地域つくりをゆっくりやっていきたいと思っています。現在、新

たに読書会も始めました。いろんなところで活動している「おじちゃん・おばちゃん」を紹介しながら、どんな生き方があるのか、何を考えて生きているのか、今、すずき出版の渡辺有理子著『図書館への道』を読みつつ話し合っています。毎週金曜日20時から事務所にて行っています。どうぞご自由に参加してください。



#### ・お絵かき交際交流

#### アイユーゴーボランティア : 相愛大学 学部生 間城 徹也

合同セミナーに参加した間城徹也です。私はこどもたちの国際交流という目的をもってタイへ行きました。国際交流をする ための道具を"**家族の絵**"とし、日本とタイのこどもたちに自分たちの家族の絵を描いてもらいました。



絵を描いている時の様子 ていないのだと感じました。

日本のこどもたちには、昨年 11 月 12 日(日)に行われた『くまとりこどもまつり』で家族の絵を描いてもらいました。そして、タイのこどもたちには、セミナーが行われている時に描いてもらいました。両方の国の絵の出来上がりを見たときの絵の印象や特徴、雰囲気は全く違ったものでした。

例えば、日本のこどもたちの特徴は、女の子に多く見られたことで、目が大きく描かれているということでした。これは、人物を可愛らしく描こうという意識が働いているためと思われ、漫画やアニメの影響を大きく受けた結果このように描くようになったと感じさせられました。ただ、こういった手法は私が小学校の時にもあったことであり、変わっ

次に、タイのほとんどのこどもたちの場合、人以外の物(山・空・木・家・田・家畜など)が多く描かれていました。彼・

彼女たちにとっては自然や動物も家族であり、生活大きく関わっている要因の一つであるように感じ取りました。また、色の表現力・感受性は皆すばらしいものでした。

どちらの国も、普通の生活の中でこどもたちに与えられる刺激は全く違うものであります。しかし、それがどういった刺激なのか、今回描いてもらったこどもたちの描く絵から読み取ることができました。

日本のこどもたちには、これから日本とタイのこどもたちの絵をまとめて郵送します。絵を利用したため、間接的な国際交流ですが、こどもたちからの反応がとても楽しみです。タイでの絵を見て、こどもたちが新たな刺激を感じてくれればとても嬉しく思います。



描いてくれたこどもたちと集合写真

## さいひょうのひとりごと

#### <本会は進歩しつつある>

本会が設立して、5年が経過した。様々な活動を通してどのように本会が変わってきたのだろう。

確かに、本会の周辺に大きな人の輪ができてきました。今一緒に活動している日本人、タイ人、ラオス人、ベトナム人たちは、本会の財産となるでしょう。その人たちと語らっていると、自然と、何か必要な具体的なものがでてきて、共に、それを作っていこうとする気持ちがどんどんわいてくるからです。具体的なものというのは、ときと場合によって、異なってくるものですが、どちらにせよ、財産は、新たな人を作り出し、新たなアイディア、行動を生み出す力が備わっていなければ、生きている財産とは言えないでしょう。

仲間たちが、それぞれの得意分野を生かし、活動していくと、 本会はジットしてはいられない。本会は、学ぶことは無限にある と信じているから。退歩ではなく、進歩してこそ、本会が財産と なることではないでしょうか。

#### ~お知らせ~テレビ大阪にて紹介されます

3月9日(金) 10:00~10:30 テレビ大阪にて放送の番組《ボランティア 21》にアイユーゴーが出演します。全国版です。放送日は地区によって違います。別紙を参考にしてください。

#### - 編集後記-

間城徹也君による若さあふれるレイアウトはいかがでしょうか。ご意見をお待ちしております。気候が不順の折、インフルエンザなどにお気をつけください。

(編集長談)